

実践記録

学校/学年	中学校／1～3年	
教科等：単元名	道徳：情報社会のくらし方	
キーワード	情報社会 情報モラル 携帯電話	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☒ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☒ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d4:危険を予測し被害を予防するとともに、安全に活用する
	中目標項目番号 中目標項目内容	d4-1:安全性の面から、情報社会の特性を理解する
授業会場	☐ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☒ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	携帯電話の危険を知り、携帯電話を安全な使用方法がわかる	
使用教材	教材名	『ちょっと待って、ケイタイ』
	製作者	文部科学省 エル・ネット
	入手先(URL 等)	http://www.elnet.go.jp/elnet_docs/keitai-dvd.htm

○展開案

	学習活動	指導 評価◎
導 入	1 携帯電話を持っているか問う。 2 何か危険を感じたり、失敗したりしたことはないか聞き、全体で共有する。	簡単な発問で携帯への問題意識を高める。 携帯を持っていない生徒が引け目を感じないように配慮する。
展 開	3 インターネットでビデオ映像「ちょっと待って、ケイタイ」を視聴する。 4 ビデオ映像の内容を全体で確認し、ワークシートに書き込む。	映像を流す前に、視聴がふざけた雰囲気にならないように指導する。 ワークシートを配布する。
お わ り	5 感想を書き、発表する。 6 これから自分たちはどうして行けばいいかを話し合う。	できるだけ生徒に発言させる。 ◎携帯電話の危険を知り、安全な使用方法がわかる。

○授業の成果

- ・全生徒がビデオを真剣に見ていた。内容や人物も古さを感じず、自分達の生活に結びつけやすかったのだろうと思う。生徒の感想にも「携帯の怖さがわかった」「携帯を持ったら気をつけたい」などの言葉が多く見られた。
- ・携帯電話の危険性を話し合う場面で、各自よく考えられていて、発言の内容も危険を的確にとらえられていた。

○指導のポイント・留意点

- ・ビデオ映像を視聴するだけでも効果はあるが、発問や全体での話し合いを通して、一人一人がより問題意識を持てるようにする。
- ・ワークシートを使って自分の考えをまとめさせ、全体の発表の場で発言しやすくする。
- ・1時間の中で4つのストーリー全部を扱ったが、時間が足りなかったので、2時間に分けると良い。